

# 風のように

甘木教会

牧師：竹田孝一

★  
JOY  
LOVE  
PEACE  
BELIEVE  
CHRISTMAS



声高らかに言った。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。」  
ルカによる福音書1：42

## 【説教要旨】

「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。」というエリサベトのマリアへの言葉は、クリスマスの意味について私たちに語っています。

クリスマスは、私たちの内に神の子が来られるということであり、「胎内のお子さま」とあるようにマリアが自分の内に神の子を持ったように、私たちが自分の内にイエス・キリストを持つということであり、同時にそれは、神を持つことです。それは祝福あり、福音です。

「あなたは女の中で祝福された方です。」というようにマリアが代表して祝福を受けたように、クリスマスは、神の祝福を私たちもいただくということです。

「胎内のお子さま」とあるように、マリアに聖霊によって、イエス・キリストが与えられたのです。しかし、同時にマリアが胎内にイエス・キリストを持ったということであり、この出来事に福音があり、祝福があるのです。

ルターは、「神をもつ」ということを次のように言っています。「神をもつと言っても、神を指でとらえたり、袋に入れたり、箱の中に封じたりはできないことはよく理解できよう。

けれども、心が神をとらえ、神によりかかっているときには、まさしく神をつかんでいると言えるのである。ところで、心をもって神によりかかるということは、徹頭徹尾、神を信頼することに他ならない」

受胎告知でマリアが、「マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。1:38」と答えたように、神を持つということは「徹頭徹尾、神を信頼する」ことです。

「徹頭徹尾、神を信頼する」こと、それは、信仰です。信仰するとは、「胎の内にイエス・キリスト」をマリアが持ったように、私たちも自分の内にイエス・キリストを与えられ、持つことです。

先日、「子どもアドボカシーとアタッチメント」という研修会で、保育の歴史を話されました。今の保育の現状は、「経済優先」という軸で組み立てられていると指摘されました。長時間の保育、7時半から18時半、11時間も幼稚園、保育園にいる。園児の保護者が働きやすいようにする。それは、経済を動かすかためであるということです。監事を長く務めたデンマーク牧場福祉会の評議員会で、障がい児福祉施設で責任をもたれているNさんが、今の福祉の困難さを話されました。「今の福祉は、福祉でなく、経済的活動に取り込まれている。福祉的でありたいが、経済的に運営しないと運営が出来ない。経済的行為の中で、やるせなさを持ちつつ、自分の行為が、隣人に対して愛の行為へと向くようにといつも強くもっておかなくてはいけないと言いつつ聞かせている」と言う趣旨を語られました。

「神をもつ」という祝福は、私が神から祝福をいただいたということであり、いただいた人は、イエス・キリストが、隣人を愛されたように、隣人に対して祝福をもって、愛するという行為が日々起こってくるのです。

ルターの有名な言葉に「キリスト者は、すべてのものの下に仕える愛のしものべである」というように私たちは変えられていくのです。「自分の行為が、隣人に対して愛の行為へと向くようにいつも強くもっておかなくてはいけない」と言われたように、「いつも」キリスト者は、すべてのものの下に仕える愛のしものべとなるのです。

とはいえど、社会が、経済原理の中で動かされていく中で、理想の幼児教育、保育、福祉を貫くことは並々ならぬ困難さがあります。一人一人を大切にするには、人件費が多くかかり、施設の運営を圧迫します。しかし、圧迫するから一人一人に不自由をかけても良いということは良

心が疼きます。そこで、経済的運営と幼児教育、保育、福祉という間で、苦しみ、悩みます。先週は、聖誕劇の練習の佳境に入り、連日練習日でした。この劇になかなか「はい」といつて入れない子どもたちの世話をしていました。「いやなものは、いや」という子どもの気持ちをどこまで受け留めてよいのか、気持ちは分かりながら、どうにか劇に参加させようと努力する自分がいて葛藤です。悩みながら子どもたちと一緒にいました。正直、自分がいやになりました。しかし、悩みと苦しみの内にこそ、「神にできないことは何一つない。」という**神の恵み**に頼らざるをえませんでした。ここに神がおられる。私たちは神を持っていると呼び帰してくれます。

徹頭徹尾、神を信頼する、ここに神がこの一人ひとりの子どもたち、私の内におられる。私は、神さまの言葉、確かさにただ、自分を開き、信頼していくのだというところにしかありませんでした。エリサベトに、マリアに働かれ、彼女らのところに神はおられ、彼女らが神を持ったように、私の思いをこえて現実にあるということを神は働かれるのです。「**あなたは女の中で祝福された方です。**」というマリアへの言葉しか、私たちは聞かないのです。私たちは**祝福された方**なのです。

祝福されたキリスト者は、すべてのものの下に仕える愛のしものべとなり、共に生きていく世の実現を起こします。メルケル元首相は、意気喪失させる現実があることを見つつ、こう言います。「しかし、幸いなことにわたしたちは、キリスト者で、神への信頼と力を持っています。……神は人に作用する火なのです。この作用する火を、わたしたちも自らの内に持っているべきだと思います。……」

しかし、そのすべてを成し遂げる力を、どこからか得る必要があります。キリスト教信仰は、わたしたちにとって善き力です。一作用する火であり、わたしたちはその火を使って、すでに成し遂げたことを喜びと共に眺めることができますし、その火のもとにいれば大きな問題でも目を閉じる必要がなく、その火を通して、これから来る人々のために努力を続ける力を得るのです。“地を従わせよ”の言葉の意味どおり、わたしたちは人間的な顔をした世界を作り上げるべきで、その世界においては共生と連帯によって力を与えられ、前へと進む道を示されるのです。」 クリスマスー祝福をいただくことを告げられています。



## 日毎の糧



主はそのみ腕で力を振り、 思い上がる者を打ち散らし、  
権力ある者をその座から引き降ろし、 身分の低い者を高く上  
飢えた人を良い物で満たし、 富める者を空腹のまま追い返されます。  
そのしもベイスラエルを受け入れて、 憐れみをお忘れになりません。

ルカによる福音書 1 :



この幼子は、あなたの心を満たすために送られたのであり、  
それ以外の理由で生まれたものではありません。そこで、心  
が信仰によって開かれるとき、み名の意味、すなわち  
「いつくしみ深きイエス」を味わいます。

ルター日々のみことば 鮎谷堯爾編訳 いのちのことば社

**憐れみをお忘れになりません。**

マリア讃歌というルカによる福音書にある有名な讃歌で、「マグニフィカート」とラテン語のまま表記するときもあります。ルターも「マグニフィカート」の解説書を出版しています。

フラシスコ教皇は、「世界は今また、戦争という惨劇に沈んでいます。過去の惨事を忘れがちな人類は、おびただしい蛮行によって虐げられてさまを目の当たりにする、新たな、そして困難な試練にさらされています。」と言うように今の時代ほど、いやな時代はないと思うことはありませんか。人間の技術は大いに発達しました。しかし、世界はエゴで満ち溢れ国家も、個人も自分さえ良ければよいということで争いは絶えません。

しかし、私たちは目に見える世界は「空」です。困難な世界に目を止めるのではなくこの世界を支配される確かな力を見るのです。空なる世界は終わります。誰によって。神によって。

主はそのみ腕で力を振り、思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます。

御手は働かれます。これこそ現実の世界であることに錨を降ろして、希望をもって、神の愛の業を弛まず行っていく時代がいます。

**祈り：**憐れみをお忘れにならない主よ、あなたの憐れみは満ち、あなたの力によって世界が動くことを信じ、弛まず愛の業を行うことができますように。アーメン。

# 牧師室の小窓からのぞいてみると



今、世界で起きていることは、理解ができません。理解が出ないが激変を生きるということだと今年も強く感じている。だから「私は道であり、真理である」というイエスの言葉を聴く時です。

## 園長・瞑想？迷走記

2025年も時代の大きな変化の日々の中で自分自身を問われていくと思います。面白い本の紹介を「PRESIDENT WOMAN」でみました。前台湾のデジタル担当大臣をされたオードリー・タン氏の「オードリー・タン私はこう思考する」という本です。

彼は、どんなアイデアや権利も独占せず、無償で広く公開し、共有することを重視し、そして、彼の仕事への変化は、「技術を持つ者」から「与える者」への転換だったという。それぞれが別の国に住んでいても、技術を共有しながら学び合い、みんなで協力して研究開発をすれば、一人でやるよりもはるかに大きな力となると言っています。

これは今、もっとも大切な生き方ではないでしょうか。この生き方こそが未来を作っていくと思っています。

私たちの教会は、「教会讃美歌」という讃美歌集を持っています。いつも新年の時に歌う「新しい年をむかえて」という曲があります。「自分だけで生きるのではなく 同胞からと手をたずさえて み恵みがあふれるような国を 地の上に来たらすような生き方を 今年はしよう」という一節があります。それが、自分のことばかりが中心になる今の時代だからこそ大切な生き方ではないかと思います。

新しい学期が始まります。自分だけでなく友だちのことに目を向ける一人一人でありたいと思っています。ページェント（イエスさまの誕生劇）の中で、園児同士が相手に目をやり、仲間が何を求めているかということを考えて行動している場面をみました。同じ目標に集まって、互いに協力し合ったのがページェントでした。これが今、未来の生き方ではなでしょうか。（「1月園だより」より）

## 甘木通信

楽しい思い出が誰でもあると思います。牧師になるための最終研修の時、田園調布幼稚園の先生方と出合ったことで今でもその当時の先生方とお付き合いをしている。



私が幼稚園を任せられるようになり、多くの勇気と励めを受け、園長・牧師としてどう牧会をし、園を運営していくかという多くの示唆を受けたその一人が柴田愛子さんである。

先日も「愛情さんさん 自分流がいちばん 子育てを楽しむ本」を読みかえした。

「こどもと心が通いあったらすてきですねえ こどもの気持ちがわかってあげたいですね。」という一文は、私に語りかけてくれているように身近に感じた。引退後の今も牧師、園長を続けている



とこども、信徒の心により添えない自分に突き当たり、苦しくなる。いっそう、引退したのだから、ここから逃げ出しても誰も文句は言えないだろうと思う。

「愛子さんの子育てお悩み相談室」で、「こんなふうに親の悩みを追っていくと、子どもと共に親の世界が広がっていくのを感じます。こどもだけでなく親（私）も確実に育っているのです。そして、いつか悟るのです。子どもは（自分を含め）思うように育たないと。今度は・・・の悩みが始まるのでしょうか。本当にご苦労様です。でも、心配をよそに子ども（私）はその子らしく育っていきます。同時にあなたはあなたらしく人として育っているのです。」とに言葉に我に返り、一步、踏み出す勇気をもらいます。

**(甘木日記)土** 礼拝で降誕劇を通してメッセージを園児が伝えたとと思う。障がいのある子どもも出演出来、記念写真を撮れた。奇跡。涙が。祝会はお父さんの劇、楽しい時となった。夕刻、いつものように甘木へ。掃除。日) 冷たい朝、教会の庭掃除をしていると隣の立派な銀杏の葉が飛んできている。すごい木と感激。月) 代休で、歳のせいだろう家内とショッピングセンターに行くが非常に疲れる。火) 気を遣いすぎて今日は疲れる。だからみ言葉から慰めをいただく。水) 職員会議、明日の餅つきの準備。7時に出て午後7時に園を出る。木) 餅つき、初めて最初から最後までリードしなくてはいけないのに疲れた。来年はというところか。金) 主任と事務打ち合わせ、午後からクリスマスの感謝のプレゼントを日善幼稚園の職員し、夕刻、甘木へ。聖和幼稚園へ行き、プレゼントをする。

**おまけ・牧師のぐち** (続日記) 牧師だって神さまの前でぐちります。ぐちらない聖人(牧師)もいますが。



土) 幼稚園のクリスマス礼拝、メッセージの降誕劇を園児は、伝えることが出来たと思う。なかなか入らなかった障がいのある子どもみんなが出演出来た。そして、苦労はしたが、みんなで記念写真を撮れた。奇跡。涙がぽつんと。先生たちの苦労に感謝。祝会は、私も加わり、お父さんの劇、楽しい、楽しい記念となった。この歳になっても記念のとなる時をいただき感謝である。

夕(甘木教会のイルミネーション)刻、いつものように甘木へ。山は日が落ちるのも早く、少ししか掃除が出来なった。日) 早朝、掃除をしていると

見上げると隣のお寺の銀杏の木のすばらしさに感動。庭をみると紅葉の絨毯が引かれている。しかし、黄葉が遅い。礼拝後、外で紅葉狩りのお茶会と思うが寒すぎて行えない。夕

ターを植える。M牧師が久留米に送ってく



刻まで残りのパンジださる。車中の岩井牧師が神学生の時の独唱のCDを聞く。透き通った声に感動。月) 代休で、家内

とショッピングセンターに行くが疲れる。火) 病気で死といつも背を合わせた若き日々。老いて、いつも死と背を合わせて生きている今と若い時の感じ方は違

う。先がないから何も捕らわれず、今を大切に生きようという思いが強くなるが煩惱は消えず。こんなことを思いつつ掃除。花の苗100、絵本、20冊を購入。花

は植えるため、絵本は20冊をなぜ購入したか分からない。取りあえず、長男と次男の孫に送る。水) 今日思うようにいかないことに体も心もいっぱいになる。引退したんだからもう良いだろうと呟きつつ明日の餅つきの杵の先を削って

準備している自分を笑う。木) 餅つき、初めて最初から最後までリード。教会の方、保護者、運転手、職員に助けられどうにか出来た。助けられるということを実感した。助けられるということを実感することも気分が良い。気分の良い疲れ。事務処理、納骨堂前の花壇への花植え、掃除とよく動く。金) 主任と事務打ち合わせしながら、現場の責任者が苦労されていることを再確認。それを汲めな

かったことを深く反省。午後からクリスマスの感謝のプレゼントを日善幼稚園の職員に渡し、夕刻、聖和幼稚園の職員にも渡すために甘

木へ行き、プレゼントを渡せた。(近くの通りのイルミネーション)

家内は、22日のクリスマスの祝会の準備。事務所にはイブ礼拝の式文が出来ている。助けられている。

